

## 「ラップランドの大晦日」

ラップランドも大晦日を迎えました。もちろん日本での過ごし方とは、ずいぶんちがいます。今回はたくさんさんの写真で紹介しましょう！



午後8時、小雪の中を駅舎に向かいました。今年は異常に暖かく、北極圏なのに、 $-5^{\circ}\text{C}$ しかありません。



駅舎の玄関。線路と反対側にあります。ゲストはここに入って、2階の「会場」に向かいます。



すばらしい、スウェーデン式ビュッフェ。食べきれないほどの量と種類のディナーです。日本から持ってきた「おつまみのり」も加わりました。



ドリンクバーとデザートも充実。もちろん、私の好きな「ポマック」(北欧の炭酸飲料)もあります。



これはオープニングセレモニー。パトリシアさんが、参加者に自己紹介を促しているところです。自国語でも、英語でも、スウェーデン語でもOKです。





参加者は、総勢17名。スウェーデン、英国、フランス、スペイン、そして何と東洋の日本からも！超国際的パーティーでした。各国の言語で「乾杯！」スウェーデン語では「スコール」といいます。真ん中の背の高い男性は、オーロラハンターのスペイン人。



もちろん、おかわりは何度でも自由です。どれもおいしくて、何度もおかわりして、完全にカロリーオーバーでした・・・！



主催者ご夫妻に、花束をプレゼント。生花は、この地では貴重品です。友人に頼んで、イエリバーレの花屋さんで探してきてもらいました。もちろん、とても喜んでくださいました。



屋内パーティーのあとは、古い家具や廃材を積み上げて、盛大なキャンプファイアー。火を囲むと、国籍も人種も超えて、心がつながってゆくような気がします。



もう一度乾杯の準備。フランス人が持ってきてくれたシャンパンも加わり、皆盛り上がります。



時計が0時になった瞬間、「スコール！」このあと、大きな花火を何発も打ち上げて、楽しい年越しイベントは、大盛況のうちに、終了しました。

